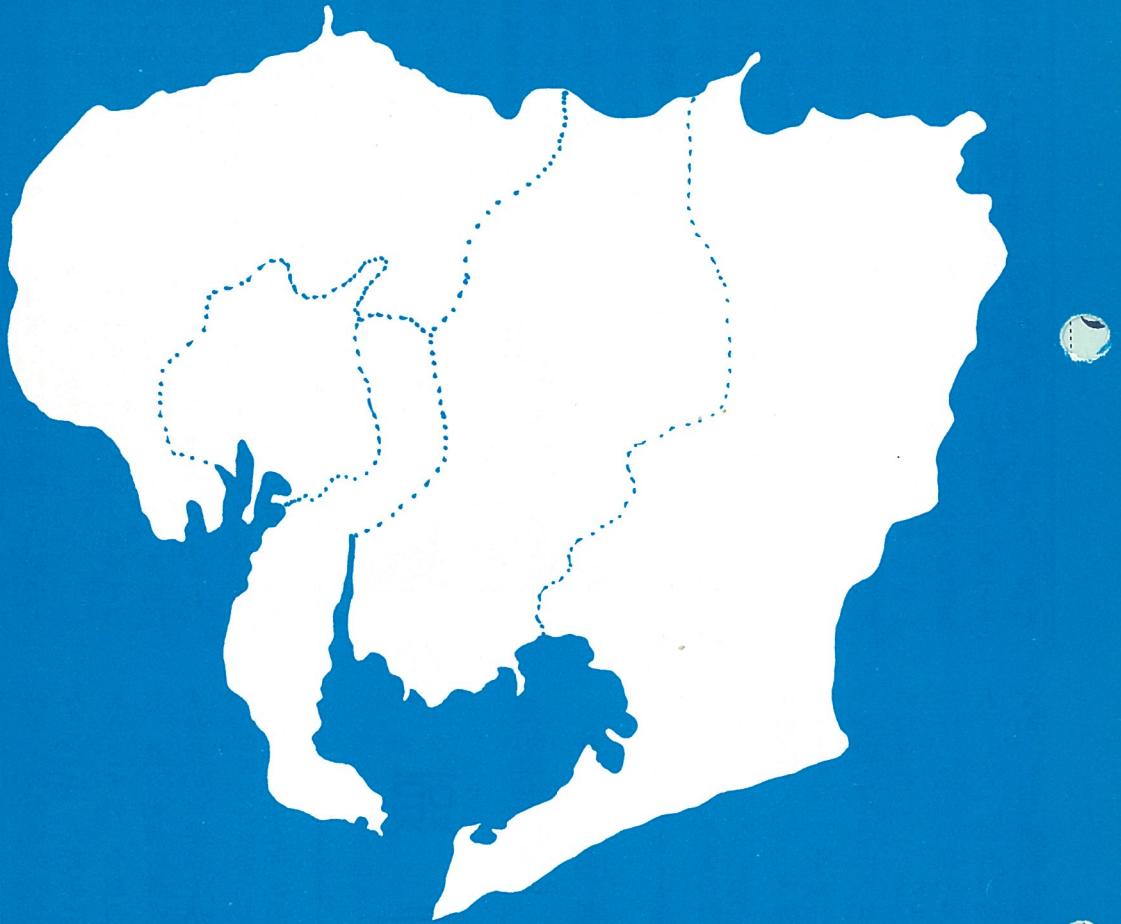


# 観の眼



## 目

巻頭言	2
剣道傷害の問題点について	3
範士八段杉山兼一先生回顧録	4
全国高校総体をふりかえって	6
私と剣道	7
私と居合道	8
第2回夏季少年剣道合宿遠征訓練	9

## 次

教職員剣道大会報告	11
豊明市剣道連盟の設立から今日まで	12
事業報告抜すい	13
事業計画抜すい	13
理事会・評議会議事録抜すい	15
昭和58、59年度役員名簿	16
編集後記	18

第7号

剣  
AICHI

愛知県剣道連盟

「光陰矢の如し」と云うが、昨年四月竹田前会長の後任として伝統ある愛知県剣道連盟の会長をおおせつかつてから、あつと

いう間に一年がたちました。  
その間、役員の方々をはじめ  
先輩及び会員諸兄の御指導御支  
援により、昭和五十八年度の諸  
計画を遂行し得たことにつき、  
先づもつて厚く御礼申し上げま

この一年をふりかえるに、悲しきことがつづきました。昭和五十九年一月三日、三十年余り尾張地区剣道連盟会長として、又当連盟副会長としての森田秋男先生が死去されました。つづいて同年二月二十一日には、当連盟創立以来の理事長として、当地区の剣道の发展に絶大な御指導を賜った、森田茂先生の訃報に接することになりました。

兩先生の当連盟に対しての御指導、御支援による御功績については述べるまでもなく、会員諸兄御高承の通りであります。謹しんで兩先生の御冥福をお祈り申します。

剣道傷害の問題点について

谷  
鐸吉郎

剣道は他のスポーツ種目にくらべて傷害事故の少ない事は各種の傷害データーで述べられており、過去に於ては剣道の傷害問題について余り意識されていなかつたと思う。

然し、最近或る新聞紙上に、竹刀の被負による失限事故についての開

題点、又現在の世相より考えられる事故に対する責任、又保償等の問題今後剣道を安全に普及、発展させるために数々の考え方なければならないと思われる問題について掲載されたが、従来訓練だからと云つて問題にならなかつたような事故でも今後は出来得る限りの事故防止対策を考えなければならないと思う。

- 一、竹刀に関する問題点
- 二、防具に関する問題点
- 三、指導、及び運動の方法
- 四、保賞（傷害保険）

竹刀については竹刀の質の良否

—竹刀はよく点検をせよ」と、指導者は常に云われているが、案外実施していない。又実施する個所方法・限度等についてきめられていないし、指導もされていない。

特に指導者が点検をする場合は、不幸にして事故がおきた場合責任問題も生ずると思われるのと、この点も考えねばならない。又指導

C) 「つる」の等について、よく点検をする  
から新しい部分に結ぶことが必要  
であろう。

最近の「つる」はよくのびるの  
で、「打突」をしたときよくはずれ  
る事が多く、又のびたままゆるく  
なる事が多い。常に強く張つてお

「面部」と「下腹部」の傷害防止の方法であろう。

「下腹部」は臓器があり強く打空すると致命的な傷害になり、面部については「失眼」という事故につながっている。

「下腹部」については「垂」を確実に着ける。又は「帯」を巾広くする等の方法、指導が必要である。



卷頭言

愛知県剣道連盟

労により無事大会を終了し得ましたことに対し厚く御礼申し上げます。

現今青少年問題がとかくいわれておりますが、どこか他の世界の話題のような、若さにあふれた中に、剣の道を求める純真さに接し、心洗われた次第です

試合を拝見していくうちに思わ

は、五十八年度の数々の行事の  
しめくくりとして、第八回明治  
村剣道大会が、博物館明治村  
(犬山市)にて開催されました。  
全国より選出された、各地区  
の指導者として活躍されている  
三十二名の八段の先生が出場さ  
れました。試合は勿論であります  
が、行住坐臥、剣の道の深遠

昭和五十九年度の行事も始まります。当連盟は、剣道を愛好し、剣道を通じて人間形成の修練に励む同好の士の集りであります。又剣道をもつて、日本の将来をになう若人を指導育成しようとする有情の士の集りでもあります。当連盟の益々の発展のために、忌憚のない御叱正と御協力をたまわることをお願いします。

当連盟がやくらに充実し、連明と会員諸兄が一層発展されるとをお祈りして御挨拶いたします。

責任を余り追求すると指導意欲の減少にもつながり、剣道の普及にも影響してくると思われる。

竹刀の折れ、割れ等についてどの程度点検をすればよいという限度はない。ただ少くともこの点について常に点検をしなければならないし、又後記する点を確實にしておれば或る程度は事故を防止出来ると思われる。

(A) 「中ゆい」の結ぶ位置及び結びかた

「中ゆい」は四つ割の竹の結束と割れの防止の為のものであり、竹部の $\frac{1}{3}$ の「先」にゆるく、又、余り固く強く結ばないようにする。

(B) 「先革」

竹の先端を結束するものであるから、先のやぶれ、又うすいもの長らく使用してぐずぐずになつたもの等について、よく点検をする。又「つる」もよくされる事があるから新しい部分に結ぶことが必要であろう。

(C) 「つる」

最近の「つる」はよくのびるので、「打突」をしたときよくはずれる事が多く、又のびたままゆるくなる事が多い。常に強く張つておる事が必要である。

以上竹刀の点検の方法であるが、点検について限度はなく、点検をしてから事故を完全に防げるという事はないが、少くともこれ位の配慮は必要であろう。

又「誰が竹刀を点検するか」という問題であるが、指導者が一本一本手に取つて点検することは時間の浪費ともなるし、又事故の生じた場合には責任の問題ともなつてくると思われる。難しい問題であるが、指導者は点検の方法を確実に教示して、「相互点検」或は「自己点検」がのぞきい。

(二) 「防具」に関する問題点

防具は打突に對して運動の限度を少なくしないように、又傷害の防止について実にうまく作られていて、現在まで余り改良はされていない。ただ考えられる問題点は「面部」と「下腹部」の傷害防止の方法であろう。

「下腹部」は臓器があり強く打突すると致命的な傷害になり、面部については「失眼」という事故にする等の方法、指導が必要である。

う。

「面」部については、「竹刀の損傷」と相関しており、又事故例としても一番多いと思われる。

最近「アイ・ガード」という面の内側に着ける物が出来たが、今後よりよい完全なものを考案せねばならないと思う。現在「反射する」「打たれたときひびく」「くもる」等の欠点があるが、この着用も考えねばならない（私の関係している少年剣道教室には全員着装をした。）

### (三) 指導及び運動の方法

剣道の傷害の多くは、気持のたるみ、ふざけた動作、竹刀によるたわむれ、等々、指導時間外に生ずる事が多い。緊張しておれば条件反射的に避けられる場合が多いが、気持がゆるんでいる時は避ける事が出来ない。

剣道は真剣に練習し、遊びの行為はやらないような指導が必要である。



ありし日の杉山範士

訓を稽古に身に体して行うよう決意して大正八年卒業。

卒業後は福島会津中学校に剣道教師として奉職され、一年後豊橋十八連隊に幹部候補生として軍務に服され、余暇には必ず、将校相手に剣道の稽古怠らず精進され、後陸軍歩兵少尉として除隊され、愛知県半田中学校高松中学校等を経て大正十三年四月岡崎師範学校に奉職。その頃師範道場は西三河でも一番の設備の道場であり、そこで師範嘱託の田中光四郎先生と共に学生指導に当られた。

市内の中学の先生方もよく師範の道場に集つて稽古会を催され、一般地方人の有段者鳥居初太郎氏、三浦市内の中学校に帰省を喜ばれて道場設立、杉山道場が開かれ地元の青少年、中学生等が入門、私も中学四年生頃入門して

義松教士等集まられ、杉山先生に昭和六年まで教えを受けられた。又師

範学生の中からは岡本利一先生、山本和吉先生鈴木秀雄先生などのごとく、後年校長になられた剣士も数多く見られます。

昭和七年、長崎県立長崎中学校に転任、約三年間奉職。余暇には右武会（九州有段者稽古会）には必ず出席、九州剣道会にも武専出の杉山に小手技有りの名声があつた。その後

郷土の懇望により岡崎市立商業学校に昭和十年着任された。先生の嚴父が帰省を喜ばれて道場設立、杉山道場が開かれ地元の青少年、中学生等が入門、私も中学四年生頃入門して

てもよく指導する必要がある。

更に、最近の少年達は身体が大きくなり、力も強くなっているので、正しい打突方法の指導が必要である。「ふり廻し」「引き打ち」は、無用の力が入り竹刀のいたみが多い。

又、剣道も身体運動である。運動傷害も他のスポーツと同じように対策を考えなければならないだろう。ただ従来の「やれば治る」という考え方は避け、或る程度の

健康管理は必要であろう。一般的に練習過度にならぬようにしなければならない。

(四) 保償（傷害保険の問題）

剣道に於て完全に傷害事故を防ぐ対策を考えなければならないだけである。ただ従来の「やれば治る」という考え方は避け、或る程度の

事故の生じた場合の処置について考えておく必要があろう。

学校、スポーツ教室、試合の場、又会場への往復等々、訓練、その他のあらゆる場合を考え、それに合致する保険に加入することが必

## 範士八段 杉山兼市先生回顧録

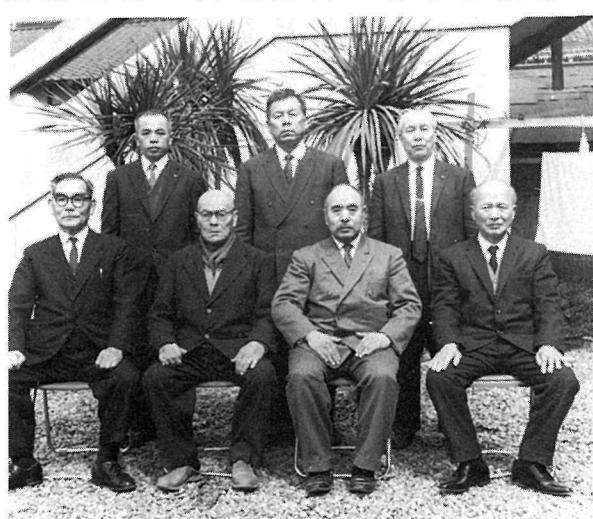
岡崎剣道連盟理事長 石川富三郎

清廉潔白、古武士の風格を持たれた三河の劍客、剣道範士八段杉山兼市先生逝去されて、早や十有余年、今回「観の眼」に恩師のことを寄稿せよとの御依頼受けまして、杉山先生高弟先輩の元警察官、戦前名古屋の警察署で活躍された、鳥居初太郎氏（旧姓橋本）ならびに、杉山先生の御子息にして豊田西高教諭杉山暢彦氏に御話承り、取まとめて一文を書きしるします。

手ほどきを受けました。岡師出身の有段者教員の鈴木秀雄先生、岡本利一先生他に三浦義松教士等も見えた。我等掛稽古にふらふらにさせられ、稽古では剣尖の強い攻めでござき廻され、しばられました。

先生は京都大会には必ず出席、武徳殿に於て剣尖のきいた攻めで、手鍊の小手技及び小手面の二段技を披露され、昭和八年五月教士、昭和十二年五月六段、昭和十六年五月七段と昇段され、その間学校剣道の為貢献されて居られたが、敗戦により学校を辞職され、四年ばかり畠仕事などして過されました。

昭和二十三年頃より、愛知県内同好の士により撓競技連盟が結成され、剣道復活の兆しが起り、岡崎でも青少年育成の為剣道愛好者によつて杉山先生を中心にして岡崎同修会を結成し、稽古が始められ、後に先生は西三河剣連理事長、愛知県理事、岡崎剣連顧問等の重責を担われました。





りませんでした。が、その思いを完全に打碎かれたのは、県警特練の稽古に参加するようになつてから、間もない時でした。

それは、体力的についていけないのではなく、県警の選手として活躍する為には、踵の不調のまま、不分分な中段で稽古を続けても、大学時代のように、選手になれず悔しい思いをするだけで、進歩が無いと考えたからです。今までの中段から踏み込み、足の違う上段に変えるということは、また「一」からやり直しました。しかし、上段が自分に適していると信じ、思いきつて、上段一本に絞りました。それからは、構え方はもちろん、竹刀の握り方、相手との間合い、攻め方など、殆んど自己流で始め、すべての事が疑問で、勉強の連続でした。

上段は片手になるため、打突が弱くなるので、面、小手の打ち込みを重点に、上段からの攻撃の組み合わせなど、何度も、自分で作った打ち込み人形を相手に研究と、稽古を繰り返しました。大学の、大野先生の「人が休んでいる時にこそ、稽古をしなければダメだよ」と、いう教えを心掛けて、夜間も体力作りのため、ランニング、バーベル、腹筋、素振

りと思います。居合道における厳格な作法、礼法は、『礼に始まつて礼に終る』と云う武道の礼を如実に教えられます。

居合の練習は仮想敵に対するもので、剣道のように対敵動作による激しい動きで体力の限界を知る事はむづかしいし、打たれて学ぶ事も出来得ないので、剣道と共に練習しなければならない。

実際に竹刀を握つての稽古が出来ない場合でも日本剣道形を修練する事により剣道の技術と理合を学ぶべきではないでしょうか。

居合道において自分の力を知るには、試合・審査等による場合が多い。

それは、修養の深さ、礼儀・技前・心構え等により判定され、勝敗を決するものであります。

特に演武するについては心構えが大切で、その基本が服装であり、姿勢であると思います。姿に勢いがあつてこそ姿勢であつて、居付く事もなく、静中の動きが出来るものであります。うしろ姿の立派な演武を中心掛けるべきだと思います。

最近の試合は、古流と共に制定居合の指定があり判定の重要なポイントとなっています。審査においても五段までは四本、六段以上は三本の

りと、トレーニングを欠かしませんでした。そんなトレーニングが好影響を与えてくれたのか、県警特練に入つたその年の秋から、選手として全国大会に出場でき、現在まで選手として頑張っています。そして、警察の剣道大会とは別にもう一つ、全日本選手権出場という目標が、私はありました。

全日本選手権では、学生時代の先輩、同級生、後輩らの活躍を次々と見せつけられてきました。そして、それをただ、傍観しているだけの自分が対する嫌悪感は、筆舌につくせぬほどでした。

そんな感情を、剣道の情熱と変え稽古にぶつけてきました。

そして第二十九回大会に初出場。二本打ちで敗退でしたが、この年は、

県代表選手とし、晴れの桧舞台で試合ができたことだけで満足でした。

しかしその翌年は、県予選で敗れ出場できず、日本一になりたければ、日本一の稽古量、研究心をもつことで、日本一の汗を流すことであると信じ、休日も午前中は、署の道場へ出向き一人トレーニングに励みました。そして、この度第三十一回全日

本選手権優勝という栄光を手にする

ことができました。今は、これまで剣道を続けて良かつたという気持ちが正直なところです。しかし年を重ねるほど、剣道とは深く、遠く、難しいものと思われます。この後におきましても、この栄光を汚すことなく、剣の道に一層精進하겠습니다。

最後に、これまで指導して下さった、諸先生方に感謝するとともに、今後も愛知県剣道連盟の益々の発展を祈念いたします。

## 私と居合道

松岡 良高



私が居合道を始めたのは、昭和四十一年二十四才の頃、当時広島で居合ができたことだけで満足でした。しかし、その翌年は、県予選で敗れ出場できず、日本一になりたければ、日本一の汗を流すことであると信じ、休日も午前中は、署の道場へ出向き一人トレーニングに励みました。そして、この度第三十一回全日本選手権優勝という栄光を手にする

うか。

円熟された先生方の模範演武には、その個性と並々ならぬ練習の跡が見られます。見て学ぶ要素の大きい居合道では、常に最高の演武を観る事が大切であります。

居合は心で抜くものと学びました。演武者の人間性が剣の働きに良く表われるものです。剣の教えを人生に活かす事が修業だと思います。そして仮想敵は自分であると思い自分を鍛える事が大切です。

多くの人が歩くとそこは道になります。同好の士が一人でも多くれど願つてやみません。

未熟な私に諸先生、先輩の御叱責、御指導賜ります様お願い致します。

## 第2回夏季少年剣道合宿遠征訓練

愛知県剣道道場連盟

八月十八日より二十日まで、愛知

県剣道道場連盟の有志八道場、参加

生徒一一七名は、岐阜県高鷲村大日

岳スキーキャンプの施設を活用して、夏季

合宿訓練を行つた。

この七月新築したばかりの、ヴィラモンサンを、ほとんど借り切つて

宿舎とし、冬ならスキーヤードごつた返すレストラン二棟を、開放してもらつて剣道場に利用して、基本、懸り稽古、班別対抗試合、それぞれに、平素の大会等では、選手として桧舞台に立つたことのなかつたような剣児たちも、今回は一人一人が誇

りと、探究心に燃えて、汗を流すことが出来た。その上、大日岳早朝登山、御母衣ダム、合掌村の見学、キャンプファイア等、遠征合宿ならではの成果を挙げて、全員無事、予定通り酷熱の下界にもどつた。

第二夜は、この合宿についての感想文を書くことにより、文武両道の修業を実践したもので、その代表作をここに紹介いたします。素朴な感覚に映し出される、現代剣児の姿を御窺い下さい。

木村君は、ぼくにやさしくしてくれたお兄さんです。というのは、ぼくが、けん道のがつしゆくに行つた時に、同じへやにとまつた人で、また小牧の武道館で、けん道をやつてゐるそですが、ぼくと木村君は、ぜんぜん知りませんでした。せまいどう場なのに、なぜかなあと思いまし。ぼくは、兄よりずっとやさしいなあと、つくづく思います。でも、兄より遊び方がへたでした。できる

ことなら、兄とこうかんしたいほど

木村君  
六瓣 小三 武弘和通  
(愛知県剣道道場連盟 理事長 前田治雄記)



## 豊明市剣道連盟の設立から今日まで

去る昭和四十三年一月に小生が豊明幼稚園の園児を対象とした剣道教室を開いたのが豊明市では初めてと記憶しております。

当初は、生徒が三名、四月中旬より十名程になり、年を追うに従い、四十名程に増え故山口銳治先生横井久義先生にも指導していただき様になりました。

当時の豊明市は、緑剣連の方々の

お世話になり、昇級審査や剣道大会にも参加させていただいておりました。

やがて保健衛生大学の誕生と共に光永勉先生、一年後には星城高等学校の畠中公夫先生も剣道教室の指導陣として、また豊明市の主力選手として活躍していただきました。その頃には豆剣士の数も百名を越え、豊明市の剣道熱も次第に高まり、光永先生が独自で剣道教室を開かれることがなりました。

やがて豊明市役所内にも剣道部が生まれ、矢野忠氏（現 豊明市役所児童課長）を中心とした社会人対象の剣道教室が発足、時を同じくして

社会人と、少年対象の剣道教室が生まれると共に豊明市体育協会の剣道部が出来ました。

この体育協会の

豊明市剣道連盟理事長  
坂田一男

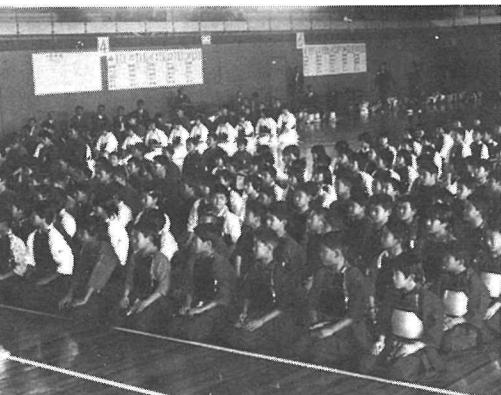
儀”この言葉のもとに今後より一層の充実を計つていきたいと思っております。

この体育協会の剣道部が出来ると多くの社会人の方が練習に参加されるようになり、北村豊先生や野田先生、仁枝先生、峰先生、谷川先生といつた今の豊明市の指導者の方々と出合うことが出来たと同時に、豊明市剣道連盟結成の動きが出はじめ、約一年後の昭和五十二年九月に連盟が結成されました。以来尾南剣道の仲間入りさせていただき現在に至つております。

同年十月に豊明市福祉体育馆の二階に剣道場が完成し、豊明市の剣道教室が出来ますと青少年の剣道熱が一層高まり、春秋二回の市長杯剣道大会には、五百名以上が参加するようになりました。一方指導者の合同練習も毎月第一・第三土曜日に体育館の道場で行われております。

昨年栄中学校に丹羽先生をお迎えしたことにより、中学校の指導体制も整い、星城・豊明高校と共に今後の活躍が期待されます。

西三剣連  
第27回中部日本剣道大会▶



尾張剣連  
西部剣道同好会



尾張剣連  
婦人クラブ



## 昭和五十八年度 事業報告抜下さい

古屋北高・同朋高  
八月九日 第25回全国教職員剣道大  
会 於奈良

東良美  
九月一八日 第29回全日本東西対抗  
剣道大会 於大分 青山定男・  
大嶽将文

優勝 小学一年生(六〇名)米山洋  
みどり、二年生(一五九名)川中洋  
太郎、三年生(二二七名)津田博  
之、四年生(三〇一名)伊藤尚哉

五月三日 第31回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 於大阪、第22回全日本女子剣道選手権大会於大阪

五月四～六日 第31回京都大会 参加人員七八名

五月一五日 第6回愛知県制定居合道段別選手権大会

参加人員九九名

五月二三日 熱田神宮奉納大会  
参加人員一四一八名

(成年) 先鋒黒山、次鋒山崎、  
中堅北村、副将松本、大将伊集  
院。(少年) 先鋒山田、次鋒宮  
内、中堅原田、副将今村、大将  
村松

八月二日 六団体剣道大会  
優勝 愛知県警察

八月二八日 愛知県夏季鍊成大会  
於露橋スポーツセンター

優勝 (小学生) 斎年寺A  
(中学生) ナオリ

八月二八日 第18回全日本居合道大

九月二三日 第2回高段者大会  
於露橋スポーツセンター

十一月三日 成田山奉納大会  
於成田山

參加人員一一五名

十一月三日 第31回全日本剣道選手  
權大会 於日本武道館

優勝 東一良、徳丸英俊

十一月三日 第16回都道府県選抜剣  
道選手權大会 於名古屋市体育  
館 優勝 栃木、2位 名古屋

昭和五十九年度  
事業計画抜粋

五年生(三四三名)田中寛、六年生(三〇一名)山田勇治、中学一年生(一四八名)藤島直也、二年生(一九六名)田原基裕  
月二五日 明治村剣道大会 於犬山、優勝村山慶佑、二位奥園国義、三位堀田国弘・佐藤博信

五月二九日 第11回 愛知県教職員地区対抗剣道大会	六月五日 熱田神宮奉納大会（高段者の部）	七月二九日 全国中学生剣道優勝大会県予選会	八月二七四日 全国高等学校総合体育大会
地区	優勝・名古屋 優勝 尾張地区	於知立福祉会館	於蒲郡 参加校（男子）
参加人員五九名	優勝・名古屋 優勝 尾張地区	優勝（男子） 師勝熊野中学	桜ヶ丘高・西尾東高（女子）名
地区	優勝 尾張地区	（女子）音羽中学	
五月四日 第13回愛知県居合道段別選手権大会	九月一一日 愛知県女子選手権大会	九月一八日 愛知県剣道段別選手権大会	九月一八日 愛知県剣道段別選手権大会
於北海道	於露橋スパーセンタ一	於名鉄体育館	於倉橋真由美
会	優勝 柴田幸喜恵	優勝 初段の部（二六三名）重	二位
		村竜峰、二段の部（一二九名）	倉橋真由美
		宮内賢一、三段の部（一〇二名）	
		古寺卓美、四段の部（三五名）	
		轟木利治、五段の部（一八名）	

昭和五九年三月四日 東海四県居合道大会 於露橋スポーツ優勝  
愛知県（小池・三浦・竹内・梶田、宮内、渡辺、寺沢、前田、滝、松岡）

三月一日 東海四県剣道大会 於  
県スポーツ会館 優勝 愛知県、  
(牟礼、白石、東良、徳丸、杉本  
堀山、渡辺、東一)、渡並、林、  
神成、大崎、柳生、松本、深川  
山本、牧野)

三月一八日 第15回春季少年剣道錬成大会

五月一三日 西三河実技審査会 於安城、愛知県制定居合道段別大會 於露橋10時

五月二〇日 尾南実技審査会 於常滑9時、愛知県教職員地区対抗大会 於露橋10時

五月二七日 熱田神宮奉納剣道大会 於露橋9時

六月三日 第2回高段者大会 於邦和スポーツ10時

六月五日 第2回高段者大会 於邦和スポーツ10時

六月一〇日 第26回全国教職員剣道大会 於熱田神宮10時

六月一〇日 第26回全国教職員剣道大会 於熱田神宮10時



役職名	氏名	〒	住 所	所 属	自宅 T E L	会社 T E L
理事	福田 俊雄	472	知立市昭和 知立団地67-205	西三河	(0566)81-7674	(0566)82-5151
"	石川富三郎	444	岡崎市能見町225	"	(0564)23-3715	
"	稻垣 徳三	444-03	西尾市羽塚町宮前38-39	"	(05635)9-7382	
"	浅井 功夫	446	安城市相生町3-7	"	(0566)76-1194	(0566)76-2151
"	牧野 登	441-01	宝飯郡小坂井町伊奈縫殿26	東三河	(05337)8-2721	
"	原 由一	440	豊橋市横須賀町重森1-3	"	(0532)52-9827	
"	熊谷 文利	442	豊川市金屋本町4-26	"	(05338)6-6713	
"	松本 武	443	蒲郡市中央本町20-11	"	(0533)69-4964	
"	坂田平七郎	483	江南市力長261-1	会長指名	(05875)5-8044	(052)481-7436
"	前田 治雄	468	天白区八事石坂107	道連	(052)831-0178	
"	細田 鍾郎	484	犬山市西北野132	実連	(0568)67-0639	(052)915-9716
"	寺沢 将美	483	江南市大字宮後658	中・小体連	(05875)5-1563	
"	小山 宗章	486	春日井市藤山台5-12-4	高体連	(0568)91-4607	(052)901-0338
"	林 邦夫	470-03	豊田市青木町1-75-6	大學	"	(0565)45-0971
"	深田 正夫	464	千種区本山町1-4	県警	(052)751-5346	
"	鈴木 瞭	490-01	一宮市浅井町河端吹49-1	"	(0586)78-5448	
"	川口 錦哉	462	北区名城2丁目1番11-54号	官公庁	(052)981-0745	
"	秋田 森治	453	中村区稻葉地町5-18	居合道	(052)412-3650	
"	浜地 光一	474	大府市横根町古井戸41-88	杖道	(0562)46-0340	
監事	国松 巍	466	昭和区川名山町20	"	(052)832-1023	
"	鈴木 守治	442	豊川市為当町市木37	"	(0533)75-3320	
事務局長	松田 和夫	488	尾張旭市桜ヶ丘町西127-20	"	(05615)4-8451	(052)481-0093

## 昭和58.59年度 役員名簿

(愛知県剣道連盟)

役職名	氏名	〒	住 所	所 属	自宅 T E L	会社 T E L
名誉会長	竹田弘太郎	452	西春日井郡清洲町清洲530	"	"	(052)571-2111
会長	杉山 孝雄	478	知多市八幡田渕1-59	"	"	(052)571-2111
副会長	太田 元次	454	中川区松年町4-66	名古屋	"	(052)652-7711
"	光松 靖起	492	稲沢市北島町城34	尾張	(0587)36-1026	(0587)36-2115
"	近藤 広行	477	東海市養父町横枕46	尾南	(0562)32-4141	
"	山田 満寛	445	西尾市若松町	西三河	(05635)6-3245	
"	小川 正亮	442	豊川市豊川町仁保通り71	東三河	(05338)6-4067	
"	土屋 昇	460	中区三の丸2の1(愛知県警察本部)	警務部長	"	
相談役	鈴木 房吉	440	豊橋市東旭町315	範士	(0532)55-2693	
"	佐藤 善記	467	瑞穂区弥富通5-19 マルエムビル1F102号	"	(052)831-1430	
"	浅野 八郎	451	西区花ノ木3-6-19	"	(052)521-6703	
"	近藤 利雄	458	緑区ほら貝2-7	"	(052)876-8864	
"	加藤万寿一	461	東区出来町3-9-8	"	(052)711-7629	
"	榎原 正	463	守山区大森中町田大森東住宅17-102	"	(052)798-0479	
"	匹田 勝夫	440	豊橋市八町通5-63	"	(0532)52-1016	
"	横山 定雄	462	北区大杉1-25-4	"	(052)931-5113	
"	杉山 文藏	466	昭和区小桜町1-3	"	(052)741-3044	
"	森 武雄	464	千種区内山3-28-6	教士	(052)731-8101	
"	久田 治郎	466	昭和区妙見町89	"	(052)832-0709	
"	船橋 正一	485	小牧市小牧2099-2	"	(0568)76-2511	
参与	池内 秀夫	466	昭和区北山町3-48	八段	(052)732-5998	
"	安藤 兼一	486	春日井市妙慶町3-33	"	(0568)31-4488	
"	翁長 良明	480-11	愛知郡長久手町上川原10-4	"	(05616)2-4536	(0568)77-3121
"	柳田 左内	472	知立市昭和2-1 知立団地72-101	"	(0566)81-7833	
"	内藤 利男	492	稲沢市稻葉1丁目29-32	"	(0587)32-3896	
"	青山 定男	491	一宮市浅野一本杉7	"	(0586)77-1498	(05875)6-2127
"	内藤正之助	474	大府市長草町前屋敷22	教士	(0562)46-1733	
理事長	加藤 文雄	464	千種区千種3丁目12番3号	"	(052)732-2351	
副理事長	谷 篠吉郎	491	一宮市西大海上郷東139	尾張	(0586)77-3224	
"	加藤 信雄	453	中村区小鴨町161	名古屋	(052)411-7295	
"	水野 登	470-21	知多郡東浦町森岡字上田面141	尾南	(05628)3-5698	
"	阿部 久治	446	安城市上条町山端連50	西三河	(0566)75-8856	
"	鈴木 健一	441-21	南設楽郡鳳来町海老字丁塚3	東三河	(05363)5-0026	
理事	山本 芳郎	491	一宮市向山町1-18	尾張	(0586)73-6523	(0586)72-2173
"	伊藤 弘之	480-01	丹羽郡扶桑町柏森中屋敷115	"	(05879)3-2005	
"	日置富士雄	491	一宮市柚木廬512-2	"	(0586)77-0571	
"	村瀬 守男	498	海部郡弥富町大字平島新田字西新田91	"	(05676)7-0022	
"	中村 薫	480-03	春日井市神屋町654-346	"	(0568)88-1782	
"	三輪田 薫	466	昭和区村雲町15-5	名古屋	(052)871-3947	
"	二村 忠男	453	中村区岩塚町3丁目176	"	(052)412-2231	
"	水野 八郎	454	中川区月島町7-2	"	(052)351-9876	
"	市川 嘉一	452	西区大野木4-534-3	"	(052)502-1185	
"	鈴村万亀夫	460	中区上前津1-6-1	"	(052)321-9338	
"	山本 重夫	457	南区楠町66	"	(052)811-3616	(052)611-2511
"	伊藤 一彦	468	天白区平針向田415-3 メゾン平針104	"	(052)802-8011	(052)832-1151
"	岩田 豊三	462	北区清水3-11-22	"	(052)912-2931	(052)531-1125
"	木本 三夫	464	千種区丸山町1-71	"	(052)761-0171	
"	神成 一男	463	守山区大字森孝新田字白山350-542	"	(052)774-2481	(052)201-5501
"	浜田 修作	475	半田市雁宿3-210	尾南	(0569)22-6300	(0569)23-3351
"	北村 豊	470-11	豊明市新田町古池16-6	"	(0562)92-4337	
"	伊藤 究次	477	東海市高横須賀町真光寺20	"	(0562)32-0103	(0562)33-1477
"	太田 吉郎	446	安城市河野町藤野郷2	西三河	(0566)99-1461	

「観の眼」第七号の発刊が大変おくれました事を  
深くお詫び申し上げます。

昭和五十八年度は役員改選、高校総体等目まぐ  
るしい一年が夢のように過ぎ去りました。

なお、本年度はこれまでの剣道の育成に尽力さ  
れました森田秋男前副会長、又愛知県剣連に理事  
長として今日の基盤を築かれました森田茂前理事  
長を失い實に残念でなりません。心からご冥福を  
お祈りすると同時に以上の発展に努力したい  
と念願いたしております。

最後に昭和五十九年度こそはよりよい「観の眼」  
第八号を発刊いたしたいと思いますので会員皆様  
のご寄稿を心からお待ち申しております。

広報委員長 坂田 平七郎  
広報委員 三輪田 薫

事務局長 松深村伊鈴  
田瀬藤弘之  
和守万亀夫  
夫夫夫

## 編集後記

### 広報「観の眼」第七号

昭和五十九年三月三十一日

愛知県剣道連盟

〒453 名古屋市中村区鳥居通り二ノ四

内藤ビル二階

電話 〇五二 四八一一〇〇九三